

お詫びと訂正

『医療検査と自動化』の補刷「遺伝子・プロテオミクス技術について知っておくべき知識」における記載の誤りについて

記

『医療検査と自動化』第 50 巻 Suppl.2 (2025 年 9 月 5 日発行) にて、記述に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、以下のように訂正をいたします。

◆訂正箇所 1 p.103 表 1

著者は「表 1 GC/MC、LC-MS、LC/MS/MS 受託項目数一覧」のアミノ酸分画の表記において LSI の箇所に「11」という表記をしたが、読者から指摘があったため、再度 LSI 社のホームページ上にあるアミノ酸分画検査を確認したところ成分数は「45 成分」であった為、確認不足を認め「45」に修正した。

【誤】

LSI 社のアミノ酸分画 11

【正】

LSI 社のアミノ酸分画 45¹⁾

¹⁾ アミン類、ジペプチド等も含む

◆訂正箇所 2 p.149 1~2 行目

【誤】

「等温核酸増幅技術 (LAMP 法) とリアルタイム PCR 蛍光検出を組み合わせた独自の技術を採用」

【正】

「"PCR 法による核酸増幅技術" と"蛍光標識プローブ(Q プローブ)を用いた検出"を組み合わせた独自の技術を採用」

2025 年 10 月 28 日
一般社団法人 日本医療検査科学会
「医療検査と自動化」編集委員会